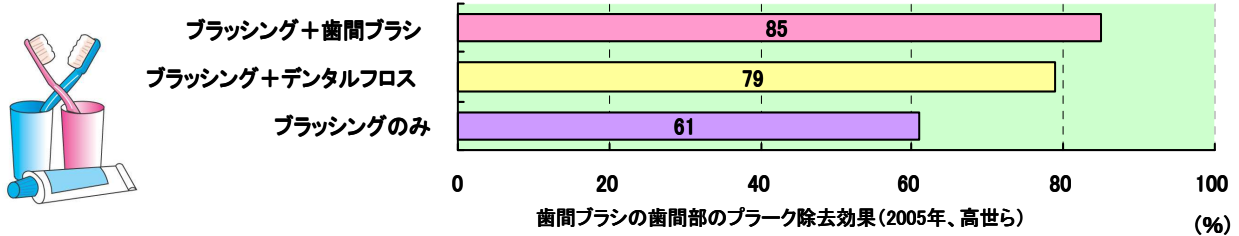


歯間ブラシ

歯ブラシが届きにくい歯と歯の間の汚れを除去し、むし歯や歯周病予防に効果があります。
 (歯ブラシだけの歯みがきでは61%の歯垢除去率ですが、歯間ブラシと歯ブラシを併用して使用する事で85%まであがります。)



歯間ブラシの選び方

鏡などで歯と歯のすき間の広さを確認し、自分に合ったサイズを選びましょう。歯間に入らない場合は、無理に挿入しようとしなくて小さいサイズに換えて、試してみましょう。

サイズ	1 (SSS)	2 (SS)	3 (S)	4 (M)	5 (L)
歯と歯の間					

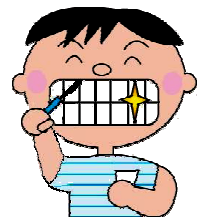
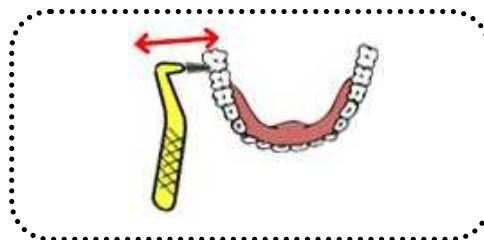
※はじめて使用する場合には、小さいサイズから試すようにしましょう。

※小さいサイズが挿入できない場合は、デンタルフロスを使用してもよいでしょう。

★歯間ブラシが入りにくいところに無理に入れたり、歯間ブラシのワイヤー部分で歯をこすると、歯や歯ぐきが擦り減ることがあります。自分に合ったサイズの歯間ブラシを正しく使用することが大切です。

歯間ブラシの使い方

- ・歯間部にゆっくり歯間ブラシを挿入して、前後に2~3回動かします。
- ・奥歯であればブラシの先を90度くらいに曲げて、脇から差し込んで動かして汚れをとりましょう。
- ・あらかじめ奥歯用の歯間ブラシは曲がった形のものもあります。



※使い方が分からない場合は、歯科医師や歯科衛生士に相談しましょう。

※歯間ブラシは歯ブラシ同様にブラシが傷むまで繰り返し洗って使用できますので、使用後は洗って風通しのいい所で乾かしましょう。

※歯間ブラシの毛が乱れたり、短くなったりしたら取り替えましょう。